

おたふくかぜワクチンの予防接種をご希望の方へ

おたふくかぜワクチンの接種を実施するにあたり、接種を受けられる方の健康状態を把握する必要があります。そのため、裏面の予診票にできるだけ詳しくご記入の上、医師の診察をお受けください。なお、お子さまの場合、健康状態をよく把握している保護者の方がご記入ください。

ワクチンの効果と副反応

おたふくかぜワクチンはムンプスウイルスを弱毒化した生ワクチンで、接種後に体の中でワクチンウイルスが増え、約90%の人に抗体ができます。

一方、ワクチン接種に伴う副反応として、接種部位が赤くなる、腫れることがあります。通常、一過性で2～3日中に消失します。また、接種後2～3週間ごろに、発熱、耳下腺の腫れ、嘔吐、咳、鼻汁などの症状があらわれることがあります。通常、数日中に消失します。非常にまれですが、次のような副反応がみられることがあります。

- (1) ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管浮腫など)、
- (2) 無菌性髄膜炎(接種後3週間前後)、
- (3) 急性散在性脳脊髄炎(接種後2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動・意識障害など)、
- (4) 脳炎・脳症、
- (5) 血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血など)、
- (6) 難聴、
- (7) 精巣炎(精巣腫脹など)、
- (8) 急性膵炎(腹痛、発熱、嘔気・嘔吐など)

なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

予防接種を受けることが出来ない方

- 1) 明らかに発熱している方(通常は37.5℃を超える場合)
- 2) 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 3) 過去におたふくかぜワクチンの接種により、アナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと)を起こしたことがある方
- 4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患にかかっている方および免疫抑制をきたす治療を受けている方
- 5) 妊娠していることが明らかな方
- 6) その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した方

予防接種を受ける際に医師と相談していただく方

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- 2) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- 3) 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方
- 4) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、または近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- 5) 本剤の成分(主にエリスロマイシン、カナマイシンの抗生物質)に対してアレルギーを起こす可能性のある方
- 6) 薬の服用または食事で発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方

予防接種を受けた後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後30分間は、アレルギー反応(息苦しさ、じんましん、せきなど)が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応(発疹や発熱などの過敏症状)が接種直後から翌日に出現することが知られています。接種後1日は体調に注意しましょう。
- 3) 接種後、4週間ほどは副反応の出現に注意しましょう。
- 4) 接種当日の入浴は差支えありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
- 5) 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 6) 妊娠が可能な人は、接種後2か月間は妊娠をしないように注意しましょう。

あなたの接種予定日	医療機関名
月 日 () 時 分頃 おこしてください 当日は受付に	